

等々力緑地再編整備実施計画【概要版】

川崎市総合企画局公園緑地まちづくり調整室 岡担当課長、藤井担当係長、塚本
 (問合せ先) 電話 044-200-2417・2408 / FAX 044-200-3540
 (ホームページ) <http://www.city.kawasaki.jp/30/30koryo/home/todoroki/index.htm>

序章 実施計画の策定にあたって

1 策定の趣旨

「等々力緑地再編整備実施計画(以下「実施計画」)」は、「基本計画」を踏まえ、緑地内の緑と水、安全・安心の場、動線の再整備、緑地へのアクセス改善など、緑地全体の再整備の方向とともに、陸上競技場や硬式野球場をはじめとした主要施設の整備の方向と配置、整備手順・スケジュールについてとりまとめたものです。

2 「整備方針」(平成21年5月策定)の概要

「整備方針」では、「整備に向けた基本的な考え方」をとりまとめました。

3 「基本構想」(平成22年2月策定)の概要

「基本構想」では、再編整備に向けた3つの「公園の基本的な考え方」をとりまとめました。

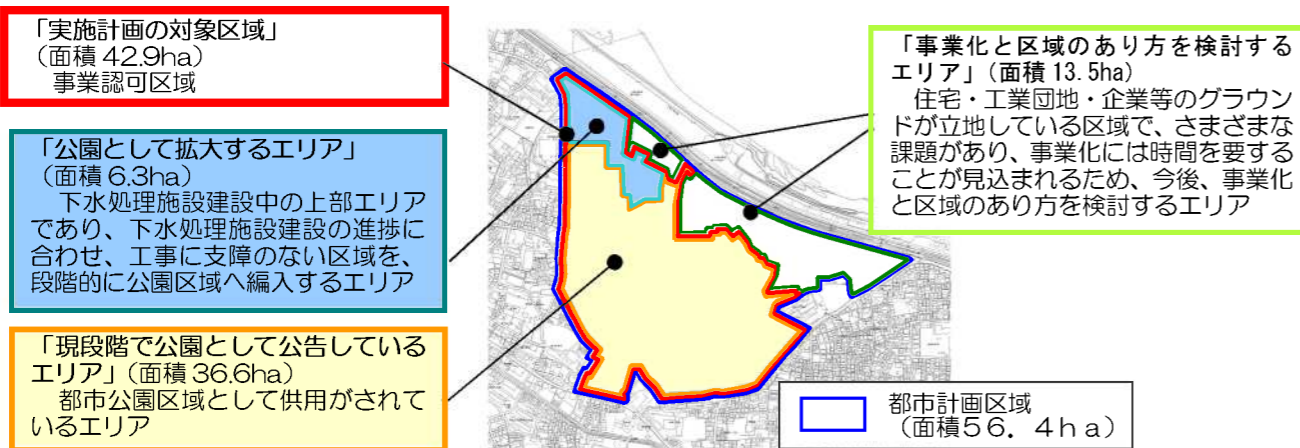
4 「基本計画」(平成22年10月策定)の概要

「基本計画」では、「公園の基本的な考え方」に沿って、「再編整備の方向性」をとりまとめました。

第1章 再編整備実施計画

1 対象区域

「実施計画」では、「基本計画」と同様、事業認可区域を対象区域とします。



2 緑地全体の再整備の方向

緑と水のうるおいの空間の機能充実に向けて、「緑と水の再整備」、「安全・安心の場の再整備」、「緑地内動線の再整備」、「緑地へのアクセス改善」の4つの視点で整備を進めます。

(1) 緑と水の再整備

みどり豊かなやすらぎとなる公園に向けて、次の方向で再整備を進めます。

ア まとまりのある緑の空間・広場の創出

・「ふるさとの森」、「四季園」、「催し物広場」など既存の緑の空間・広場と合わせて一体的な利用ができるように、点在する緑の空間・広場を再編し、まとまりのある緑の空間・広場を創出します。

イ 親水性の確保

・「釣池」や日本庭園の中にある「蓮池」は、水質改善を図るため浚せつなどを行い、水質の維持に努めます。
 ・親水空間として、自然学習や自然鑑賞の場など開放性の高い空間となるよう整備を進めます。

ウ 外周の緑の充実

・陸上競技場の南側周辺等は、一層の緑の充実が必要なため、競技場壁面緑化等の検討も含め重点的に緑の整備を進めます。

エ 多摩川緑地までの軸線の形成

・多摩川への見通しの確保、連続した植栽等により、正面広場から多摩川緑地までの緑の軸線を形成します。

オ 緑と水の連続性・回遊性の形成

・新たに創出する緑の空間・広場と、「ふるさとの森」、「四季園」、「釣池」など既存の緑の空間・広場を、緑豊かな散策路でつなぎ、散歩やジョギングなどができる回遊性のある歩行空間を形成します。

カ 多様な生物の生息空間の充実

・多摩川緑地とのつながりも考慮して、水の浄化、樹木の種類の充実などにより、多様な生物が生息できる環境を保全・創出します。

(2) 安全・安心の場の再整備

日常誰もが安全・安心に利用できる緑地であるとともに、災害時には避難・救助等に対応する機能が求められていますので、次の方向で再整備を進めます。

ア 広場・オープンスペース、園路等の整備

・災害時の避難や救援活動・物資受け入れ等の拠点となる広場・オープンスペースの確保、緑地周辺からの避難経路の確保、避難時の誘導に配慮したエントランス、園路の整備を進めます。
 ・園路等は、災害時に緑地周辺からの避難動線や緑地内各施設への避難動線として活用することを想定するとともに、大型車両による物資の搬入搬出の動線確保も考慮した整備を進めます。

イ 外周植栽の充実

・外周植栽の一層の充実が必要な陸上競技場周辺について、近隣の火災や倒壊などの被害が軽減されるよう、陸上競技場整備に合わせ、重点的に植栽の充実を図ります。

ウ 防災拠点としての整備

・大規模な公園緑地である等々力緑地を広域的な防災の拠点として活用できるよう検討を行っていきます。
 ・硬式野球場、陸上競技場などの整備にあたっては、備蓄倉庫やヘリポート、災害対応トイレの整備など、災害時に必要な機能の整備・充実を図ります。

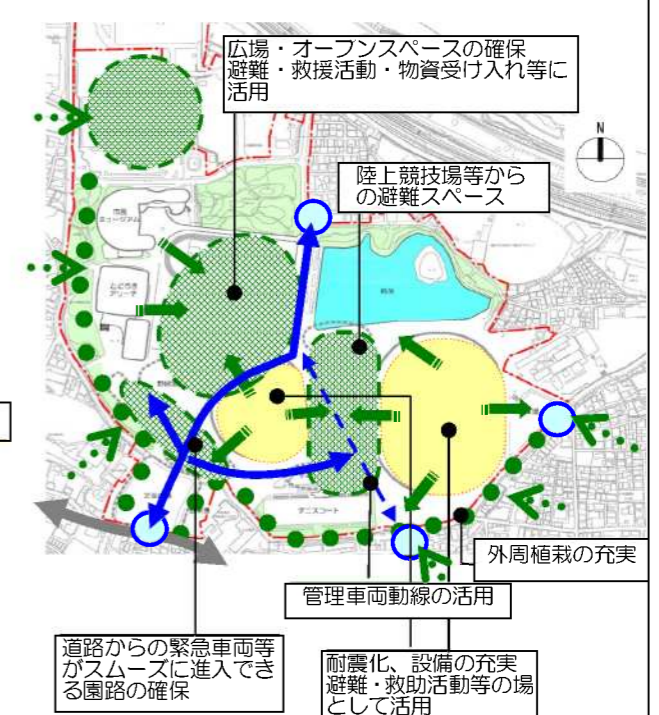
エ バリアフリー等に配慮した整備

・見通しや夜間の明るさの確保、バリアフリー等に配慮した園路等の整備を進めます。

緑と水の再整備イメージ図



安全・安心の場の再整備イメージ図



(6) 釣池

- 水質改善に向け、浚せつ等の工法等の調査・検討を行います。
- 釣りを楽しむ空間とともに、来園者にとって開放性の高い空間整備を進めます。

(7) 子どもの遊び場

- 現在の機能を保つため、適切に維持管理、更新を行います。

(8) 広場・オープンスペース

- 人が集いさまざまな利用ができる施設として、まとまりのある広場・オープンスペースの整備を進めます。

(9) 四季園

- 水車小屋やあずまやなどを活かし、四季折々の樹木が楽しめる空間とします。

(10) 21世紀の森

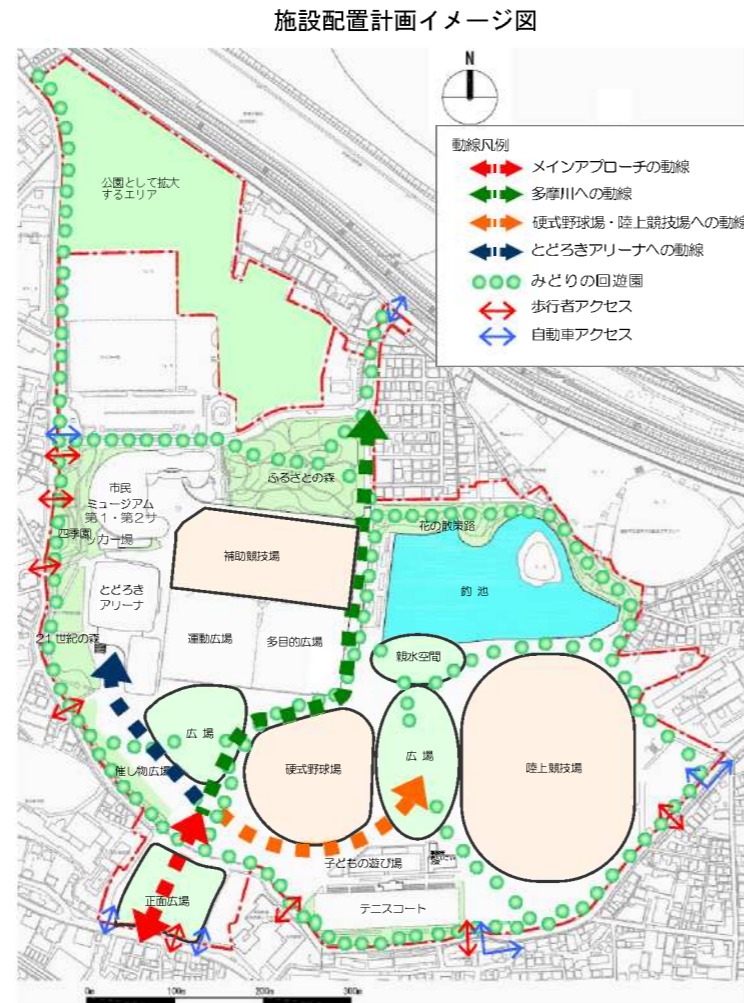
- 緑とアートを楽しむ空間の再整備を進めます。

(11) 花の散策路

- 釣池と調和した緑と水による修景的魅力的の向上を図る散策路の再整備を進めます。

(12) 駐車場

- 公共交通機関の利用を促進することを前提に、現状程度の台数を確保します。



(2) 整備推進期間の整備について

- 平成 26 年度以降を「整備推進期間」とし、**D**陸上競技場、**E**広場、**F**正面広場、**G**釣池、**H**硬式野球場、**I**広場の整備と、**a**から**d**緑地内動線の整備を進めるとともに、駐車場整備、緑地へのアクセス改善を順次進めます。
- 陸上競技場は、第2期整備工事としてサイドスタンド・バックスタンドの整備を進めます。
- 硬式野球場の整備を進めるとともに、球場の西方向にまとまりのある広場を創出します。

ゾーン	凡例	動線
A 21世紀の森	a	メインアプローチの動線
B 補助競技場	b	硬式野球場・陸上競技場への動線
C 花の散策路	c	多摩川への動線
D 陸上競技場	d	とどろきアリーナへの動線
E 広場		
F 正面広場		
G 釣池		
H 野球場		
I 広場		



2 整備スケジュール

全体のスケジュールとしては、おおむね10年を想定します。

整備等項目	先行整備期間(3か年) ＜第3期実行計画期間＞			整備推進期間
	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	
園路広場等の整備	21世紀の森整備	花の散策路整備	園路広場整備	園路広場・植栽・駐車場等整備 陸上競技場周辺整備 陸上競技場西側広場 硬式野球場周辺整備 硬式野球場西側広場 緑地内動線整備 正面広場整備 水質改善・親水空間整備
陸上競技場	整備計画の策定	基本設計・実施設計・整備着手	整備推進	第1期整備 (メインスタンド)平成26年度完了 第2期整備 (サイド・バックスタンド)
補助競技場	写真判定装置、計時計測機器の設置	写真判定装置、計時計測機器の設置などの機能向上	さらなる機能向上	機能向上
硬式野球場	整備計画の策定	基本設計	実施設計	整備推進
周辺アクセス	周辺道路の暫定的な安全対策の実施とともに、計画的な周辺道路整備を行い、等々力緑地へのアクセス環境向上を図ります。			整備推進

第2章 整備手順・スケジュール

1 整備手順

緑地内施設については、AからIまでの9つのゾーンに区分して順次再編整備を進めるとともに、動線については、aからdの4つに区分し順次整備を進めます。

(1) 先行整備期間の整備について

- 第3期実行計画期間中の平成 23 年度から 25 年度を「先行整備期間」として、**A**21世紀の森、**B**補助競技場、**C**花の散策路、**D**陸上競技場の整備、緑地へのアクセス改善を順次進めます。
- 大規模施設である硬式野球場と陸上競技場は、同時に工事を進めると工事の影響範囲が広範囲となるので、時期をずらして整備を進めます。
- 陸上競技場は、第1期工事としてメインスタンドの整備を進めます。
- ※**G**釣池は、浄化に向けた調査・検討を行います。



ゾーン	凡例
A	21世紀の森
B	補助競技場
C	花の散策
D	陸上競技場
E	広場
F	正面広場
G	釣池
H	野球場
I	広場

第3章 実施計画の実現に向けて

1 事業実施にあたって

- 施設利用団体、競技関係団体、地域やボランティアの方々などと意見交換を行うとともに、再編整備の取組について、ホームページなどを通じ積極的に情報提供していきます。
- 硬式野球場、陸上競技場については、会議なども通じて市民の方々、施設利用団体、競技関係団体等から意見を伺っていきます。また、陸上競技場の整備にあたっては、整備手法・工法・手順などについて民間事業者の協力も得ながら、「整備計画」をとりまとめます。

2 さらなる魅力づくりに向けて

- 多摩川などの自然環境や周辺のまちづくりと連携し、さらなる魅力・価値の向上をめざすとともに、等々力緑地を核として地域の魅力向上につながるような取組を進めます。
- パークマネジメントも視野に入れ、市民、NPO、企業など多様な主体が等々力緑地づくりに関わることのできる仕組みづくり、横断的な運営・維持管理手法について検討していきます。